

令和 3 年 3 月 1 日

掛川市長 松井 三郎 殿

提 言 書

入札監視委員会は、入札の監視をして透明性を高めることが役割であり、その役割を果たしてこそ存在意味があると思われる。入札監視委員会では、これまでの 4 年間 8 回にわたり 42 件の審査を実施してきたが、その中で出された委員の意見をまとめ下記について提言する。

(1) 予定価格の事前公表について

予定価格の事前公表を事後公表に改め、競争原理を働かせ、入札の公平性や透明性を確保すること。

(2) 随意契約の締結について

安易に随意契約を結ぶことなく、出来る限り競争原理を働かせ契約すること。

(3) 予定価格の算出について

見積もりによる単価決定については、出来るだけ多くの見積書を徴取し、適正な方法により単価を決定すること。

掛川市入札監視委員会

委員長 名波 良明